

JA新居浜市

(営農)

えーのーだよ！ ～第7号～

桜端の候、農家の皆様には本格的な農繁期を迎え、何かとお忙しいことと存じます。

< 春野菜トピックス >

春野菜の植え付けの時期が来ましたが、植え付けはお済みでしょうか。初期の害虫防除として、**ダントツ粒剤**をお勧めいたします。は種時、定植時、生育期など**収穫前日まで**使用できます。詳しくは下記をご覧ください。



にこにこ
ひなちゃん

適用拡大!

- はくさい
- ほうれんそう
- こまつな ● チンゲンサイ
- かぶ ● しゅんぎく など



こんな害虫被害にはダントツ粒剤がおすすめです。



ブロッコリーのアオムシ被害



さやりのつがアブラムシ被害



ねぶたのアザミウマ被害



トマトのハモグリバエ被害

栽培のさまざまな場面に使用できます。※害虫の発生前(予防)の散布がおススメです。

畑に直接
種をまくときは...

1 は種時 播溝処理土壌混和



【適用のある作物】

- だいこん ● キャベツ など

NEW!

- ほうれんそう ● こまつな
- しゅんぎく ● かぶ
- チンゲンサイ

ポットやセルから
植えかえるときは...

2 定植時 植穴処理土壌混和

アブラムシ類、コナジラミ類に対して、長期間効果が持続します。



【適用のある作物】

- キャベツ ● メロン
- ブロッコリー ● ピーマン
- きゅうり ● なす
- すいか ● トマト、ミニトマト など

NEW!

- はくさい ● にがうり

定植後も使えます!

4 生育期 株元処理

収穫前日まで使用できます。

【適用のある作物】

- きゅうり
- メロン
- なす
- トマト
- ミニトマト
- 花き類・観葉植物

NEW!

- ピーマン



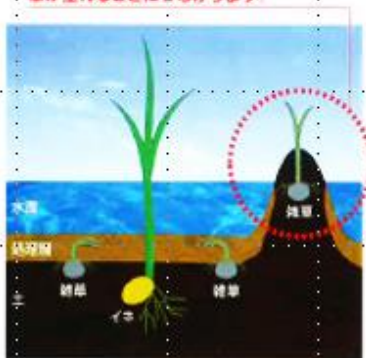
3 育苗期後半 株元処理

< 水田の適正管理ポイント >

ポイント1 ていねいな代かきは、除草効果を引き出す第一歩!

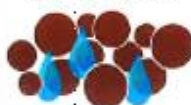
●代かきが ていねいでないと...

田んぼが均平にならず、田面が水から出ます。そうすると、薬剤の処理層ができていない草が生えることにつながります。



●砕土が粗いと...

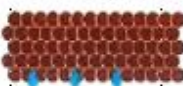
効果ムラが生じます。



- 処理層が不均一(効果ムラ)
- 間隙(かんげき)から深層に水が流れる

●砕土が細かいと...

薬剤の持つ残効期間が、フルに発揮されず。



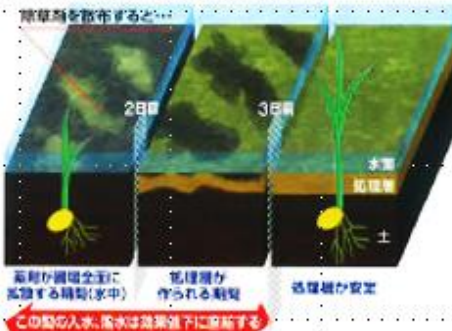
- 処理層が均一になりやすい
- 深層まで水を貯える

ていねいな代かきは、均一で安定した処理層をつくります。

田んぼの均平化を心がけましょう。

ポイント2 水管理は除草剤の効果安定のキーポイント!

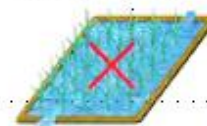
●水稲除草剤の効果の仕組み



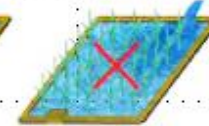
散布後、処理層が形成・安定するまで約3日間かかります。この間の急激な入水・落水は効果の低下に直結します。

●散布後の水管理

- ①散布後3~4日間は通常の湛水状態を保ってください。
- ②散布後7日間は落水・かけ流しはしないでください。



かけ流しはしない!



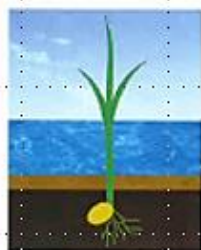
大量の水を一度に入れない!

- ③散布後は田んぼに入らない。散布後の雑草はしない(散布前に済ませてください)。
- ④水持ちが悪い圃場でやむを得ず入水する場合は、なるべく静かに(処理層を壊さないように)。

3日間は湛水を保つことを心がけ、7日間の止水管理を守りましょう。

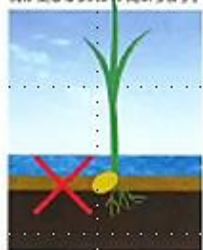
ポイント3 稲は適正に植え付け、薬害を避けましょう!

適正な植え付け



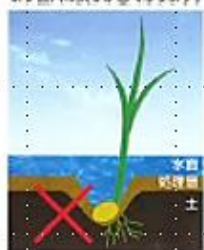
浅植え

草が密出しやすい条件では、葉害が生じるリスクが高まります。



稲穴戻り不良

代かきから日数があると、土が崩れ稲穴の戻りが悪くなります。



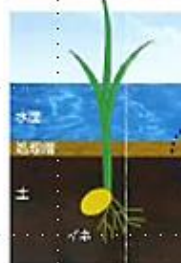
●薬害の起こりやすい条件

- ①砂質土壌・漏水田・稲穴の戻りの悪い圃場・軟弱苗の植え付け。
- ②処理後の高温、未熟有機質の発酵による土壌還元。
- ③極端な浅植え、厚き苗、湛水管理、入水の遅れ(田間同時)。
- ④散布後の補植。
- ⑤散布量、使用薬剤の間違い。
- ⑥葉等の発生や湛水条件下での除草剤散布。

代かきから移植までの間隔を短くし、移植深度3cmを確保しましょう。

ポイント4 薬剤のラベルをよく読み、散布適期に処理することが大切です。

近接葉に触れる。または成分を吸収して効果が現れる



生育が進み、葉齢層を過ぎた雑草には効果がない。また、除草剤成分が元々の雑草に侵さない圃場も枯れない。



※7エの葉齢が葉緑の葉齢内であっても、その他の葉の発生が早い場合、除草効果が劣ることがあります。代かきからの日数やその年の気象条件を加味して、登録内の早期の時期に散布することを心がけてください。

生育が進んだ雑草、適用のない雑草には効果が低下します。

薬剤の処理適期を守り、早めの散布を心がけましょう。



早期の水稲苗の出荷は、4月20日~4月30日の間です。よろしくお願いします。